本別110年記念特別対談

10年後の本別の未来を見つめて

10年ごとに町の総合計画を立て、よりよいまちづくりを目指している本別町。
10年後、未来を担う子供たちは、どんなまちになってほしいと考えているのでしょうか？
FM-JAGAのDJ栗谷昌宏さんが司会進行役を務め町長との対談形式で、まちへの思いを自由に語っていただきました。

Member

本別町長
髙橋（たかはし） 正夫（まさお）

勇足小学校6年
丑若（うしわか） 雄太（ゆうた）くん

本別中学校3年
府川（ふかわ） 諒祐（りょうすけ）くん

FM-JAGA DJ
栗谷（くりや） 昌宏（まさひろ）さん

仙美里小学校6年
岡本（おかもと） 行生（ゆきお）くん

仙美里中学校3年
大木（おおき） 彩香（あやか）さん

本別中央小学校6年
太田（おおた） 龍聖（りゅうせい）くん

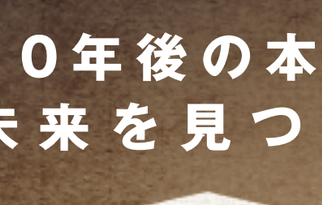
勇足中学校2年
大市（おおいち） 寛章（ひろあき）くん

本別高校3年
志戸田（しとだ） 康代（やすよ）さん

好きなところ、あったらいいもの

栗谷　まずは町長から、町長の仕事について説明していただけますか？

町長　ひとことで言うのは難しいのですが、町民みんなが幸せに元気に暮らせるように何をしたらよいのか、考えています。



一人ではできませんから、町民みんなの知恵を借りて意見を聞きながら、頑張っています。役場にいるときは、いろいろな団体から出される計画について、まちに必要なことか、お金はどのくらい必要なのかなどをしっかりと判断しています。簡単に言えば、職員や町民みんなのまとめ役として、まちづくりを進めるのが町長の仕事です。

栗谷　最終的に決めるのは町長ということですね。7人の皆さんには、まちで暮らしていて気づいたこと、思ったことを正直に話してほしいと思います。まず、本別町の好きなところと、こういうのがあったらいいなと思うものを挙げてください。

府川　いろいろな場所に公園があるのが好きで、清流公園によく行きます。ボーリングとかゲームとかカラオケなどできる、大きな遊戯施設があればいいと思います。

丑若　コンビニはけっこうあるし、特にまちに不満はないけど、大きなゲームセンターがあったらいいなと思います。

大木　役場と図書館と警察署、病院・保健関係も一カ所に集まっていて便利です。大きなスーパーはあったらいいかもしれませんが、大きくなくてもスーパーやドラッグストア、小さな店も揃っていてまちには十分だと思います。

岡本　ほかの小学校、中学校と一緒にやるイベントが多くて楽しいです。あとはゲーム、カラオケがいっぱいできるところがあればいいと思います。

太田　大きなショッピングセンターがあるといいです。

志戸田　「きらめきタウンフェスティバル」はもちろん、盆踊りなどイベントがたくさんあることと、食べ物がおいしいところが好きです。いろいろ便利な場所はあるので、あとは交通手段がもっと便利になればいいと思います。

大市　自然が豊かなところが好きなので、自然はそのままで、便利な都会になってほしいです。

町民はみんな「家族」

栗谷　自然豊かで、イベントも多く暮らしやすい。図書館などの施設へも行きやすくて便利だけど、これもあったほうがいいという、さまざまな意見が出ました。町長は10年後のまちについてどう考えていますか。

町長　かつて大きな店舗を作った場合、どんなメリットがあるかをみんなで考えたことがあります。そのときに「でも『ふるさと』はそれではダメだよね。個人の店がたくさんあって、ふれあいのある本別ならではのよさを残そう」ということになりました。もちろん、暮らしが不便になってはいけないので、よりよいまちづくりを考えることは大切です。現在約8,300人の町民はみんな「家族」だと考えています。10年ごとに立てている町の総合計画も、町民みんなで決めて、次世代につなぐまちづくりを計画しています。

夢を育て暮らしたい町へ

栗谷　町民みんなが家族なんですね。皆さんは10年後、まちづくりに参加するような年齢になります。本別町で自分が将来やりたいこと、まちへの要望などを聞かせてください。

志戸田　鍼灸師の国家資格を取って、将来は鍼灸院を開き、お世話になった方々の役に立てればと思います。また、中学1年の頃からボランティアクラブの活動で子どもと関わっているので、まちづくりの根となっている「人材育成」のひとつとして、子ども向けに福祉やジュニアリーダーの理解を深める機会を作っていただくなど、子どもの育成に力を入れることで、まちがよくなっていけばいいなと思います。

府川　農業の高校、大学へ進学し、農家を継ぎます。目標は黒字を出すことです。農業後継者として本別を支えていきたいと思います。

岡本　進学でどこの学校に行くかわからないし、将来は決まっていません。今回、町長がいろいろ考えて仕事をしていることがわかりました。

太田　まちの一部の人だけど、いろいろな意見が聞けてよかったです。ぼくもこれからよりよい本別にしていきたいと思います。あと、個人的なお願いですが、ぼくは陸上少年団で走り幅跳びをしていて、すぐ水がたまるのでグラウンドをゴムのトラックにしてほしいです。

大市　町長のお話しを聞き、将来のことを考えさせられました。それと、勇足にコンビニがないので、あればいいなと思います。

丑若　10年後は、農業の勉強をしている最中です。町長の意見や仕事の内容を聞き、今後の自分の仕事の参考にすることができました。

大木　将来、進学や仕事のために帯広など都市に住んでいると思います。町長の仕事の内容を聞く機会をもらってよかったです。

栗谷　最後に町長よりお願いします。

町長　希望はかなえられるように検討したいと思います。まちづくりも将来の夢も「こうしたい」と思い描いて、一歩踏み出すことが大切です。また、みんなが本別で暮らしたいと思うような仕事や環境の整備も進めていきます。本別町が生まれて110年。まちの子供たちは、みんなきちんとあいさつができ、とても元気で素晴らしいと感じます。将来を担う子供たちがいるから大人は頑張り、今のまちがあります。町民は家族。家族が元気であればみんな幸せなのです。10年後の次のステージへ向けて、子供も大人も助け合い、夢を持って参加できるまちづくりへ積極的に取り組んでいきたいと考えています。

最後に皆さんで記念撮影。
終始笑顔があふれる
楽しい対談でした。